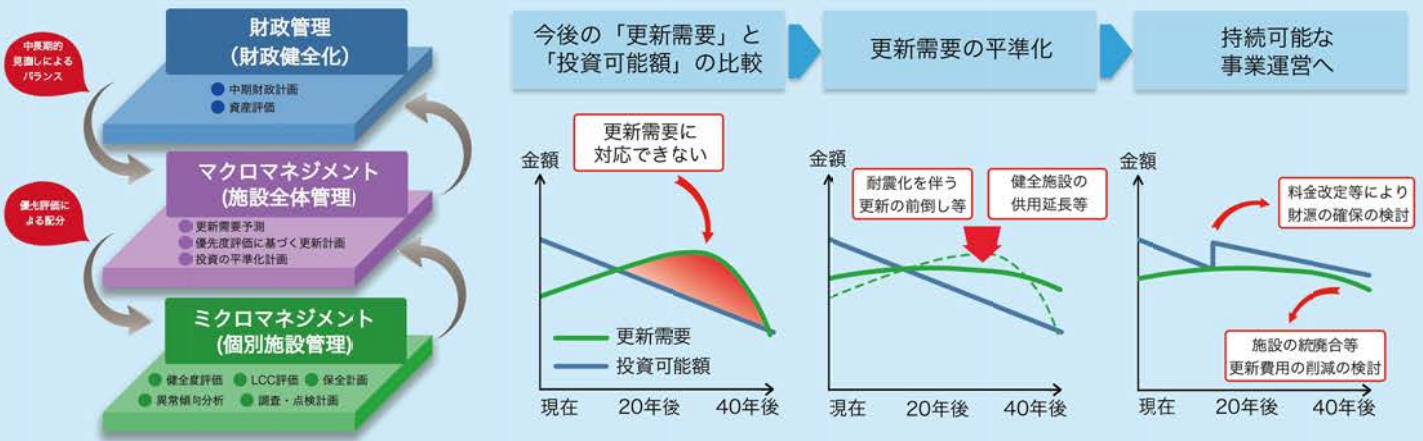


水道事業のアセットマネジメント・経営戦略

● アセットマネジメントとは

中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクルを効率的かつ効果的に管理運営する体系化された実践活動



実施例①

資産の現状把握

過去の投資実績、資産の取得年度、帳簿原価等を整理

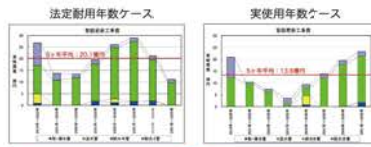


資産台帳の取りまとめ
現有資産を的確に把握

実施例②

更新需要の算定

法定耐用年数^{※1}と実使用年数^{※2}で、それぞれの更新需要を算定



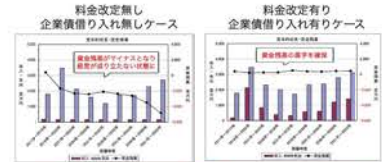
算定ケースを変えることで
施設の長期使用を想定し、事業費を圧縮

※1…地方公営企業法で定められた耐用年数
※2…事業体毎に設定された使用期間(更新サイクル)

実施例③

財政収支の見通し

将来の資金残高や収支状況を計算し、料金改定や企業債^{※1}の借入れを検討

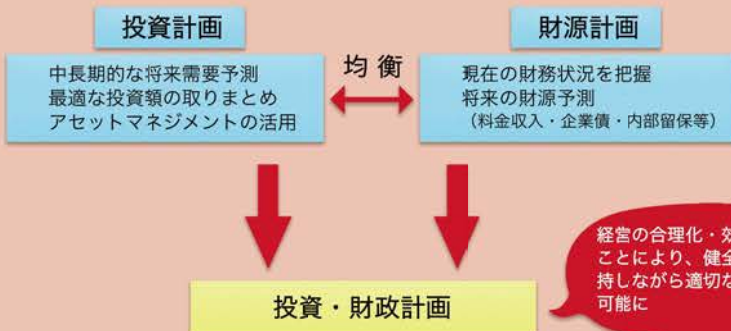


料金改定や企業債借入れの
必要性を可視化することが可能に

※1…一時的な借入れ金

● 経営戦略とは

施設・設備投資の見通しである「投資計画」と、支出の財源見通しである「財源計画」を均衡させた「投資・財政計画」に沿って、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む活動



施策例

事業運営の効率化

- 施設情報の電子化と共有化
- 遠方監視システムの充実
- 官民連携、広域化の推進



施設の適正化・耐震化

- 施設の集約、ダウンサイジング
- 施設の長寿命化
- 老朽施設の更新
- 耐震性能の向上



危機管理体制の強化

- 災害時の支援、協力体制の強化
- 応急給水、復旧体制の強化
- 危機管理対策マニュアルの充実



水道事業の経営は、人口減少や水需要の減少により、厳しい状況に置かれています。適切なアセットマネジメントの実施、経営戦略の策定により、将来に渡って持続可能な水道事業運営をサポートします。